

# 就学前の遊び・生活が 子どもの育ちに与える影響について

—子どもの育ち・学びの連続性を支えるカリキュラムの作成に向けて—



田中浩二 (Ph.D., Health Sciences)  
のあ保育園, 至誠館大学  
koji0706@alpha.ocn.ne.jp

1

## 就学前の遊び・生活が子どもの育ちに与える影響について —その他の結果—

### II 保育に関する行動や意識

- 「子どもは遊び・生活をとおして学ぶ」には高い認識
- 計画の立案・活用については、勤務形態やクラス内での役割によって傾向の違いが見られた
- 生活科については低い認識

### V 幼児期の終わりまでに育ててほしい姿について

- 「いつから育むか」「いつから意識しているか」については、子どもの年齢によって異なる項目があった
  - ➔ 3.協同性、6.思考力の芽生え、8.数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚、は特に顕著
  - ➔ 1.健康な心と体、10.豊かな感性と表現、は年齢差がない

2

## なぜ、このテーマ？

なかなか進まない？ 保幼小接続・・・

- ➔ 保育要録（指導要録）を読んでももらえない、活用されない
- ➔ 保育者が伝えたことと、小学校教職員の知りたいことの相違
- ➔ 保育者と小学校教職員での子どもの育ちや関心のある育ちの側面・場面等に対する認識の相違・ズレ
- ➔ 就学前施設での「遊び」・「生活」、そして「環境」に対する認識不足・誤解

接続が上手くいかない原因の一つは、  
保育の側にも課題があるのではないか？

3

## 幼児教育と小学校教育の接続期における課題

中教審：幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会資料などから

- 連携・接続に向けた取り組み（情報交換など）を十分に行う場や時間の確保が困難
- 連携・接続に向けた取り組みを十分に行うための共有ツールがない
  - ➔ 幼児期の終わりまでに育て欲しい姿（10の姿）が十分に活用されていない
- 連携に向けた取り組み（連絡会、交流会、保育要録など）が形骸化
- 複数園から1つの小学校への進学するため、子どもの育ちの様子が一様でない
- スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムが形骸化・実態に合っていない
- 幼稚園・保育園・こども園と小学校の「育ち」「学び」などの意識・認識の乖離
- 幼稚園・保育園・こども園と小学校での連携の必要性に関する意識の乖離
- 幼稚園・保育園・こども園間での「育ち」「学び」などの意識・認識の乖離
- 幼稚園・保育園・こども園間での就学に向けた意識・認識の乖離

4

## これからの幼児教育・保育と 小学校教育との接続期における観点

- 幼稚園教育要領や保育所保育指針の理念の普及
- 0歳から18歳までを見通した学びの連続性と質の確保
- 接続期の教育の意義・重要性、幼児教育の質に関する認識の共有
- 幼稚園・保育所・こども園と特別支援教育・発達センターなどとの関わり方の検討
- 多様な施設における5歳児への関わりと、小学校における6歳児への関わりをつなぐ工夫
- ICTの活用
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の実践への活用
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と幼稚園・保育所・こども園と小学校の創意工夫を生かした幼保小の架け橋プログラムの実施  
→架け橋期のカリキュラムの開発

5

## 就学前施設における遊びが子どもの育ちに及ぼす影響に関する調査研究 ～就学前の学びの連続性の確立を目指して～

### 【本調査研究の最終的な目標】

- 将来を見据えた育みたい資質・能力の育成
- 就学前期での「遊びを通して学ぶ」の発信
- 就学前期での保育における学び・育ちの連続性の支援・確立
- 育ち・学びの連続性を確保するためのカリキュラムの作成
- 保育（遊び・生活）で育つ子どもの姿やその背景の表現の確立
- 保幼小連携の促進：接続期での子どもの情報の伝達・共有

を目指しています。

6

## 「育みたい資質・能力」を育むとは？

10の姿

≡

育みたい資質・能力

- 知識及び技能の**基礎**
- 思考力・判断力・表現力等の**基礎**
- 学びに向かう力、人間性等

**10の姿**

【3歳以上児の保育内容】 53項目

5領域

- 健康
- 人間関係
- 環境
- 言葉
- 表現

【1歳以上3歳未満児の保育内容】 32項目

5領域

- 健康
- 人間関係
- 環境
- 言葉
- 表現

【乳児の保育内容】

3つの視点

- 健やかに伸び伸びと育つ
- 身近な人と気持ちが通じ合う
- 身近なものに関わり感性が育つ

主体的・対話的・深い学びの確保、アクティブラーニング

7

教科・科目を通しての学び							
(1) 何を知っているか、 何ができるか (個別の知識・技術)	(2) 知っていること・ できることをどう使うか (思考力・判断力・表現力等)	(3) どのように社会・世界と関わり、 より良い人生を送るか (学びに向かう力、人間性等)					
(主体的・対話的・深い)遊びを通しての総合的な							
就学	10の姿	ア.健康な心と体	ウ.協同性	オ.社会生活との関わり	キ.自然との関わり・生命尊重	ケ.言葉による伝え合い	養護
3歳	イ.自立心	エ.道徳性・規範意識の芽生え	カ.思考力の芽生え	ク.数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	コ.豊かな感性と表現		
1歳	健康	人間関係	環境	言葉	表現		
0歳	3つの視点	健康	人間関係	環境	言葉	表現	
		健やかに伸び伸びと育つ	身近な人と気持ちが通じ合う	身近なものに関わり感性が育つ			
		(1) 知識及び技能の基礎	(2) 思考力、判断力、表現力等の基礎	(3) 学びに向かう力、人間性等			

8

## 育みたい資質・能力を育む意義と接続？

- 小学校以降の教科・科目を通した学びの土台
- 3つの視点・5領域をしっかりと育むことが育みたい資質・能力を育むことにつながる
  - ➔ 「基礎」であることへの理解が大切
  - ➔ 小学校以降の教科・科目を通した学びにつながる「種」を撒くこと
  - ➔ その「種」は「遊び・生活」の中で撒かれる
- そして、（特に資質能力の基礎の部分）接続では「どのような種をまいたか？」「どのような場面で種をまいたか？」を伝えることも大切なのでは？

9

## カリキュラム、カリキュラムマネジメント

### カリキュラム・マネジメント（幼保連携型認定こども園解説）

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画を作成すること、その実施状況を評価して改善を図っていくことなどを通して、教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画に基づき、組織的かつ計画的に各幼保連携型認定こども園の教育及び保育活動の質の向上を図っていくこと（カリキュラム・マネジメント）に努めるものとする。

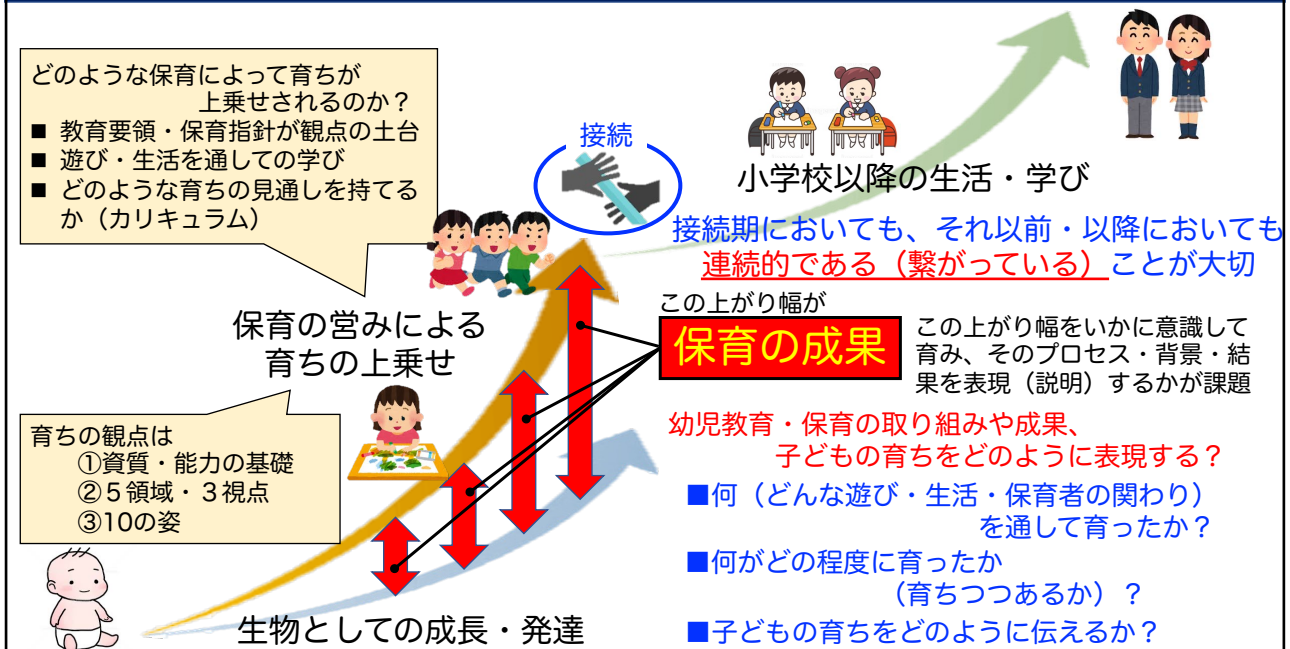
### カリキュラム・マネジメント（小学校学習指導要領解説総則編）

児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、一中略一教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。

10



## 保育・幼児教育の保育内容・実践における観点と課題



11

## 本調査研究の意義と価値 —この取り組みによる副次的効果—

- 保護者への子どもの育ち・背景の情報提供
- 新人保育者や実習生の指導・教育
- 遊び・生活よりも環境設定・保育者の関わり
  - ➔ 「遊び」・・・「楽しくなければ遊びじゃない！」
  - ➔ 適切な保育の提供
- 質の高い保育の実践・・・家庭での子育てとの差別化
- 保育の成果の可視化
  - ➔ 保育者の満足感、モチベーションの確保

12



13

就学前の遊び・生活が  
子どもの育ちに与える影響について

第51回 山口県保育大会@美祢市  
2023/06/10

ありがとうございました



田中浩二 (Ph.D., Health Sciences)  
のあ保育園, 至誠館大学  
koji0706@alpha.ocn.ne.jp

「就学前での遊び・生活が子どもの育ちに与える影響について」調査研究報告書(第一報)全体版は、下関私立保育連盟ホームページの「調査研究」ページから閲覧・ダウンロードできます。  
<https://www.shimonosekishi-s-hoikurenmei.com>



14